



◎本ニュースレターは、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

残暑も和らぎ、秋らしい過ごしやすい気温になってきましたね。野外でのイベントも増えてきて、エコネット応援団の皆様が出席されるイベントも多数あります。見て聞いて知る良い機会になると思いますので、ぜひ参加してみてください！

さて、今回は、エコネット応援団の皆様の交流や連携による取り組みなどのご報告が届いています。なかなか個々の活動の中では解決が難しい課題も、団体同士で連携して力を合わせると解決の糸口が見つかったり、新しい取り組みにもつながったり、良いこといっぱいです。今回のご報告を参考に、他団体との連携を検討してみてください！

〔岐阜県大垣市〕

はりんこネットワーク様より
活動報告です！

2025年6月28日（土）

『ハリヨ意見交換会』を実施しました！

この意見交換会は、専門的な知識を持つ有識者、特に池の藻の課題について詳しい、帝京大学の片桐浩司先生からアドバイスをいただくことが出来ました。ハリヨの保全拠点を周遊しながら、団体が抱えている課題の解決に向けて懇談しました。温暖化による藻の対策や、高齢化による継承問題等課題は多くありますが、行政や木曽三川エコネット応援団の協力のもと進めてまいりたいと思います。

何十万年も前から棲息していた回遊魚のハリヨは、一万年前の氷河期以降、伊吹山系の湧水が気に入り定着しました。しかし、現在、人間の都合と保護者不足で危機的状態です。はりんこネットワークにご縁のある劇団シンデレラさんの子供たちにより、「おかえり！はりんこハリー」ミュージカルの公演がスタートします。ミュージカルを通じて、後世に伝承されることを願い、楽しみにしています。

加賀野八幡神社



西之川ハリヨ池



▲営巣の確認等、大垣市のクラウドファンディングによりリニューアルした様子等を確認しました。

菅根城公園



▲実際にハリヨが泳いでいる湧水池を見ながら、そこで活動する保護者の方からハリヨ保全の現状や、課題についての聞き取りを行いました。



▲福祉会館にて、水草の状況やヘドロの堆積、外来種問題等、ハリヨの生息環境の維持について活発に議論が行われました。

〔岐阜県揖斐郡池田町〕

中川の藻刈りとハリヨの生息調査を実施しました！

7月27日、ハリヨ生息地である「中川」の藻刈作業を実施しました。岐阜県立池田高等学校の皆さんの協力も得て、事故なく作業を終えることができました。この「藻刈作業」は、ハリヨ生息地の営巣環境保全と生息数調査実施に関わる作業効率向上のために、毎年この時期に実施しています。

8月7日には、令和7年度ハリヨ生息数調査を実施しました。この調査は、年1回同時期に実施しており、昭和60年より継続して行われています。今年度の調査では、実施前に大雨のため川が増水した影響からか、生息数の減少がみられましたが、次年度以降も「ハリヨ生息地環境保全」の指標として実施していきたいと考えています。



▲藻刈りの様子

7月27日、科学部の生徒と「地域環境保全」を選択した生徒が池田町上八幡ハリヨ保護区で藻刈り活動に参加し、絶滅危惧種ハリヨの保護の重要性を学びました。

8月7日には生息数調査を見学し、岐阜協立大学森先生との座談会で、ハリヨの生態や水質調査の留意点、川の流れと藻の関係などについて学びました。

地域の自然を守る活動に高校生が継続的に関わる意義を改めて実感し、次世代としての責任を感じながら、今後も保護活動に積極的に取り組んでいきたいと強く思いました。



▲ハリヨ生息調査の様子

池田町ハリヨを守る会様より
活動報告です！

池田高校様より
活動報告です！

藻刈り：2025年7月27日（日）

ハリヨ生息調査：2025年8月07日（木）

親子で学ぼう『環境教室』を開催しました！

尾西信用金庫様より
活動報告です！

2025年9月20日(土) びしんコミュニティホールで親子で学ぼう「環境教室」(尾西信用金庫主催)を開催いたしました。尾西信用金庫は、イタセンパラの飼育・展示を通して環境問題について注力していたところ、本イベントの講師をお願いした「自然と共生を考える会」会長箕浦秀樹氏と接点ができました。箕浦氏ご自身で数々の講演会を実施しておられることを知り、当金庫での講演会を打診したところ、快く受けていただきました。

今回の講演会は、近年の地球温暖化や、外来種等の影響による環境の変化について、身近な生き物に少しでも関心を持っていただき、生物多様性や持続可能な社会について親子で学ぶ機会を提供することを目的に開催しました。講演会当日は親子40名が参加、ご自身が撮影した写真を使って子供達に質問をしながら対話できるようにして自由に意見交換ができる形式にいたしました。日常、自然に触れる機会が少ない中、子供たちは興味をもって耳を傾けていました。

質問コーナーでは子供たちからカブト虫や、クワガタに関するものや、ゴキブリに関する質問が飛び交い、親御様からは、御在所岳で行っている「アカトンボふる里さがし大作戦」で羽にGマークが書かれたアカトンボの話も出てきて大いに盛り上がりしました。今回の環境教室を通じ親子で自然や生物への関心を少しでも高めるきっかけとなればと考えます。



▲親子で学ぼう『環境教室』の様子

〔愛知県一宮市、岐阜県羽島市〕 2025年9月25日(木) ~

イタセンパラを飼育 展示しています！

環境省中部地方環境
事務所様より活動報告です！

環境省中部地方環境事務所では、イタセンパラ保護増殖事業の一環として、愛知県一宮市、岐阜県羽島市の小・中学校などの施設で、国内希少野生動植物種の普及啓発を目的としたイタセンパラの飼育展示を行っています。今年度は、9~10月にかけてイタセンパラの生体を配布し、10月1日時点で、民間施設を含む11か所の施設において受け入れていただきました。

小・中学校では、岐阜県水産研究所の担当者による講演や、当事業事務局による飼育方法の解説も実施され、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。子どもたちからは、「飼育のコツは?」「イタセンパラはオスとメスでなぜ色が違うの?」といった飼育方法や生態に関する質問も多く寄せられ、関心の高さがうかがえました。一部の施設では一般公開も行っておりますので、ぜひこの機会に、貴重なイタセンパラの生体をご覧になってみてください。



▲飼育されているイタセンパラ



▲小学校の水槽にイタセンパラを入れた時の様子

※展示場所のお問い合わせは事務局まで！



イベント出展で指標種や 取り組みの普及啓発を行っています！

応援団参加団体の皆様にもご協力いただきながら、様々なイベントで指標種や木曽三川流域生態系ネットワーク形成の取り組みについて普及啓発を行っております。イベントでは、指標種(イタセンパラ、ハリヨ、ニホンウナギ)の認知度アンケートや、支援ツールを活用した啓発活動を行っています。



支援ツールに新追加した
シールセット

今年からシールセットを支援ツールとして新しく追加し、大人から子供まで幅広く、楽しみながら学べるコンテンツとなっております。応援団の皆様にもイベント展示等でシールセットほか支援ツールを活用して普及啓発にご協力いただけたらと思います。

今年度のイベント出展予定は以下の通りです。

- ・10/25(土) 笠松リバーサイドカーニバル(推進協議会事務局)
- ・10/25(土) 138ひつじプロジェクトinびさいまつり(尾西信用金庫)
- ・12/02(火) 水都大垣水循環フォーラム(推進協議会事務局)



▲昨年のイベント出展(笠松リバーサイドカーニバル)の様子



▲指標種の認知度アンケート回答の様子



缶バッチガチャガチャ
(アンケート回答のお礼)

！ぜひご覧ください！
SNSで
情報を発信中！



Instagram



https://www.instagram.com/kiso_econet/



Facebook



<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」
ホームページ

ニュースレターのバックナンバーはこちらから↑
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisajojo/econet/index.html>

木曽三川流域エコネット応援団 事務局：国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課(岐阜県岐阜市忠節町5-1)

【問い合わせ先】木曽川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisajojo-chosa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125